

◆ 世田谷都税事務所長賞 ◆

「税の力」

世田谷区立梅丘中学校 3年 竹村 凜

「六十二」

私は、この作文に取り組む中で、この数字に出会いました。これは、日本にある税金の種類の数です。意外と多いなと感じましたが、アメリカには数百種類もの税金があり、これでも少ない方なんだなと思いました。このうち私が知っていた税金は七個で、使われ方も知っていたものは、三個しかありませんでした。この作文を書くにあたって詳しく調べてみると、税金には一つ一つに意味があり、問題を解決するために作られているものも多くあることが分かりました。例えば「入湯税」。これは鉱泉源などの保護の目的で作られた税金です。私は、本当にこんな税金あるの？ととても驚きました。

こうした税金の使い方を見て、もし私が税について取り組むなら、次の二つのことをしてみたいと思いました。

一つ目は、税の仕組みを教えてもらうことを学校の授業に取り入れることです。七種類の税金しか知らなかった私のように、税になじみがない中学生はとても多いと思います。昨年日本で徴収された税金は七十二兆円で、これは、世界中の 아이폰 ユーザーが最新の機種にのりかえるために必要なお金と同じです。私達が日頃払っている税金がどこで、何のために、どのように使われているのかを知れば、税金を払いたくなかった人も、納得して税金を納めてくれると思います。

二つ目は、社会問題の解決のために税を取り入れることです。

例えば A I に関する税金です。現在、税を課すことが議論されているようですが、まだ導入はされていないようです。台風十号では、予報がバラバラで予定が立てられなかったり、交通機関が止まって家に帰れなかったりして困ることが多かったです。けがをするなど、様々な危険もありました。A I に関する税金で研究が進み、精度の高い予測が立てられるようになったら、より安全な環境で生活できると思います。

こちらはすでにありますが、ゴミに関する税金です。ゴミの問題は深刻で、あと二十年後にはゴミを捨てる最終処分場がなくなってしまうと言われています。ゴミ処理ができないというだけではなく、それによる不法投棄や治安の悪化などより大きな問題に発展してしまいます。私は将来、安心して生活ができるよう、今からこの問題に取り組みたいです。

私は必要な税金は支払ってもいいという考えですが、残念ながら払いたくないと考えている人が多いと思います。でも、先程のゴミ問題でゴミの量に応じて税金を払うようにしたらどうでしょう？多くの人は支払う税金を減らしたいと思うので、ゴミを減らすために買い物に行く時はエコバッグを持つようにするなど努力すると思います。税金が納税者の意識や行動を変える力となり、社会問題の解決のために使われたらいいなと思いました。